



2025年度

11月 保育園だより

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る
保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

朝晩の冷え込みに秋の深まりを感じます。

子ども達は、園庭や保育所周辺の自然の変化に気付き、「先生、ほら、きれいな黄色い葉っぱあつた」「ドングリいっぱい落ちてるよ」「コオロギ捕まえよう」など秋を見つけ、思い思ひに工夫しながら遊びに取り入れています。今後も、子ども達の発見やつぶやきに心を留め、季節の変化を楽しむ、感性を育ててまいります。

今月の行事予定

3(月)	文化の日	21(金)	秋の全国交通安全運動（至 30 日）
4(火)	交通指導	23(日)	女性消防団 防災教室 10:20～
	毎月 1 日、15 日は年齢に適した交通ルールを学びます	24(月)	勤労感謝の日
	フレンズタイム	25(木)	振替休日
	歌に合わせて「あいうべ体操」や「足元氣体操」「ラジオ体操」をして健康増進と異年齢交流を図ります。		フレンズタイム
10(月)	フレンズタイム	26(金)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～
	保育実習 福祉短大より（至 21 日）		当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。
13(木)	イングリッシュタイム 9:30～	27(木)	※感謝の日 3 園合同研修会 18:00～
	ブライアン先生・りえ先生(4.5 歳)	28(金)	子育てサポーター 9:30～11:00
17(月)	フレンズタイム		随时布団持ち帰り
	交通指導		シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせ下さい。
	身体測定（至 21 日）	29(土)	親子ふれあい発表会 (3.4.5 歳児)
20(木)	避難訓練		<12 月の行事予定>
		2(火)	0歳児 親子ふれあい会 受付 15:20～
		3(水)	1歳児 親子ふれあい会 受付 15:20～
		4(木)	2歳児 親子ふれあい会 受付 15:20～

2歳児 うさぎ組担当 海野 保育士が産休入りいたしました



保育・教育

日頃から、異年齢で交流する機会を大切にしています。年齢の枠を超えて友だち関係を広げ、刺激し合うことで遊びや生活に学びを得ています。今回は、その一部をお伝えします。



0歳児 ひよこ組

全児でフレンズタイムを行います。少しどキドキしながらも、異年齢の子から「〇〇ちゃん!」「足もみもみしてあげる!」「こうやってするんだよ」と声を掛けてもらい、会を重ねるうちに自ら、近づいていくようになりました。また、ホールでの交流時間に「おいで~」と目線に合わせて呼んでくれるお兄さん、お姉さんに笑顔を見せます。積み木を重ねられた時に「すごいね~」と拍手をしてもらうと、一緒に拍手をして喜び姿から安心していることが感じられます。優しく接してもらう経験から、人の信頼感や社会的なつながりが芽生えていくよう、今後も異年齢の関わりを大切にていきます。



1歳児 りす組

園庭で遊んでいる時に、うさぎ組のAくんが「カエルおったよ」と、りす組の子ども達に見せてくれました。その日から、虫探しに興味が出始め、園庭に行くと、虫探しをしているお兄さんに「虫いた?」「見せて」と、関わりが増えてきました。また、カエルのジャンプの動きをするお兄さん、お姉さんの動きを真似たり、模倣遊びが広がってきます。これからも、大きなクラスとの関わりを増やし、子ども達の遊びが広がり、一緒に遊ぶのが楽しいと感じができるように異年齢交流を行っていきます



3歳児 いぬ組

運動会を機に、らいおん組、くま組への憧れの気持ちがさらに大きく膨らんでいます。よさこいや万博テーマの踊りを真似ながら一緒に体を動かし喜んでいます。またある時、広告の紙飛行機を飛ばしている5歳児の姿を側でじっと見ていました。すると、そのことに気づいた5歳児の子が「これしてみたい?する?」と声をかけてくれました。しかし、5歳児のように上手く飛ばすことはできません。すると5歳児の子が腕に手を添え、飛行機と一緒に飛ばしてくれました。更に、いぬ組の子ども達用に小さい飛行機も作ってくれ、上手く飛ばすことができると「お兄ちゃん見て!すごい飛んだよ」と伝え、笑顔を交わし合う姿が見られました。

お兄さん、お姉さんに心を寄せ、“見たい”“真似たい”“一緒に〇〇したい”という思いが、いぬ組の子ども達の新たな経験と学び、成長につながるよう援助してまいります。



4歳児 くま組

5歳児の活動に興味をもっています。運動会のよさこいやリレー、楽器を使ってのリズム遊び等、様々な活動の様子を見て「何してるの?」「かっこいいね」と憧れの眼差しで見ています。中でもよさこいは、5歳児が運動会で法被を着て鳴子を持って踊る姿に感激したようです。運動会後、「らいおん組さん、教えて」とお手本になってもらい、真似して踊っています。今は、“らいおん組さんと一緒に踊ること”“(その子なり)真似して最後まで踊れた”という楽しさや満足感を得ています。よさこいに限らず、くま組の子ども達が感じている5歳児に対する憧れや、“かっこいい、やってみたい”という気持ちを受けとめ、日々の活動の中で5歳児との繋がりが深まるよう関わっていきます。



5歳児 らいおん組

自分達の意識の中に、らいおん組は一番大きい年長クラス!という誇りがあります。0歳児ひよこ組の友達を見ると「可愛いね」と頭を撫で、4歳児くま組によさこいを見せてあげる時は、自分達のかっこいいところを見せたくて、やる気スイッチがONになり、張り切って踊って見せます。

また、同年齢の友達との関わりは、さらにパワーアップしています。特に7月から続いている段ボールのジャングルでは友達と一緒に動物を作り続けています。「誰か今日、力バにエサあげた?」「そろさんの散歩行って来るね」と友達とお世話することが日課となっています。異年齢、同年齢の友達と互いに影響しあい、育ち合っています。そんななかから、人を尊ぶ心、いたわる心、更には、自分を愛する心が育つことを願っています。